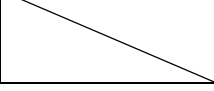
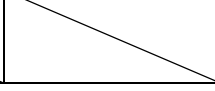
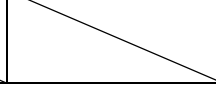


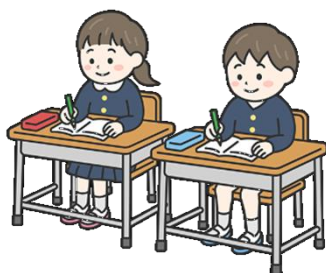
【大海小学校 令和8年度学力・学習状況調査の結果】

本校の学力・学習状況等について、4月に実施された調査の結果と、学力向上を目指して実践を重ねていることなどについてお知らせいたします。

全国や石川県、かほく市平均と比較すると、本校の学力調査結果は以下のようになります。

6年生	全国学力調査		県学力調査		
	国語	算数	社会	理科	英語
県との比較					
国との比較					

5年生	市学力調査		4年生	県学力調査	
	国語	算数		国語	算数
市との比較			県との比較		



平均正答率が

3%以上 上回る	平均と 同程度	3%以上 下回る
		

【結果から見た大海っ子の課題】

本校は、どの学年も概ね県平均を上回っていますが、共通する課題として、次のことが挙げられます。

- ① 問題文や資料を正確に読み取り、必要な情報を取り出す力が不足している。
- ② 根拠を基に説明したり、条件に沿って記述したりする力が不足している。
- ③ 学習した内容を理解しているが、必要な事柄を落とさず、適切に表現する力が不足している。
- ④ 数量や割合、単位などの基本的な考え方が十分に身に付いていない。



【力をつけるための学習活動】

- ① 「問題文を正確に読む」活動を日常的に取り入れる。
→問題の条件やキーワードを確認してから解答する習慣を身に付ける。
- ② 根拠を明確にして説明する場面を増やす。
→「答え」だけでなく、「なぜそう考えたのか」を説明する活動を充実させる。
- ③ 資料・図・表・グラフを読み取る学習を充実させる。
→教科を問わず資料を読み取り、わかったことを説明する場面を増やす。
- ④ 自分の考えを書く・伝える活動を日常化する。
→授業の中で、自分の考えを整理して表現する時間を確保する。
- ⑤ 図や具体物を活用し、数量の意味を理解する学習を充実させる。
→数直線、テープ図、表、具体物などを活用し、数量や割合、単位の意味を視覚的に理解させる。